

朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成をめざします。

2013年度朝日大学入学式を挙行 「建学の精神」遵守を誓う

キャンパス内の桜が開花し新年度を迎えた4月2日(火)、本学穂積キャンパス10周年記念館大ホールにおいて2013年度朝日大学入学式(春季)が青空のもと厳粛に挙行された。朝日大学と歯科衛生士専門学校との合同入学式では、新入生から新たな気持ちを胸に入学の宣誓が行われた。



「全日本選手権・全日本学生選手権」優勝の竹川ひかる選手(ビジネス企画学科4年:岡山県出身)

ENTRANCE CEREMONY



厳粛に入学式を挙行

入学式では、学部、大学院、留学生別科日本語研修課程、歯科衛生士専門学校の入学生647名が、大友克之学長並びに藤田厚専門学校長からの「入学許可」の宣言を受け、朝日大学での新たなキャンパスライフをスタートさせた。

大友学長は、告辞の中で建学の精神について「大学の基本理念であり、私たちはこの建学の精神を具現化することを使命にしている」と述べ、その内容について世界経済や日本の人口動態などを例に挙げながら具体的に説明。「社会へ旅立つ最終ステージとして、新入生諸君の活躍とさらなる飛躍を祈っている」と語りかけた。

理事長から祝辞

続いて挨拶に立った宮田侑理事長からは、「これから的学生生活では、第一に、自らのマーケットバリューを高めるよう努力してください。第二に、日々自らにモデルチェンジを課し続けてください。第三に、他流試合に挑戦してください。第四に、常に創意と工夫、誠実さをもって全てのことに対応してください」と新入生たちへの激励の言葉(祝辞)が述べられた。



宮田侑理事長から激励の言葉が述べられる

これに対し、入学生代表者からは「建学の精神を遵守し、学業成就に向け努力します」と新たな気持ちを胸に力強い宣誓が行われた。



大友克之学長による入学許可

国際色豊かな式典

今年は、県内外関係機関より次のとおりの来賓を迎えた。また、本学の建学の精神を反映し、海外交流校であるアラバマ大学バーミングハム校より歯学部教員2名と学生10名が参列、英語による祝辞が述べられ国際色豊かな式典となった。

明海大学 学長	安井 利一 様
アラバマ大学バーミングハム校歯学部 歯周病学講座 主任教授	Dr.Nicolaas Cornelis Geurs 様
瑞穂市 市長	堀 孝正 様
岐阜県商工会議所連合会 会長 十六銀行(株) 取締役頭取	堀江 博海 様
岐阜県経済同友会 筆頭代表幹事 サンメッセ(株) 代表取締役会長	田中 良幸 様
岐阜県経営者協会 会長 (株)トーカイ 代表取締役社長	小野木 孝二 様
岐阜県体育協会 副会長 昭和コンクリート工業(株) 会長	村瀬 恒治 様
岐阜県歯科医師会 会長	高木 幹正 様
岐阜県弁護士会 副会長	浅井 直美 様
岐阜県歯科衛生士会 会長	野々垣 静子 様
岐阜県立岐阜農林高等学校 教頭	鈴木 英司 先生
高松高等予備校 理事長	村上 良一 先生
高松高等予備校 副理事長	村上 太 先生

ウエルカムパフォーマンス



体育会によるウエルカムパフォーマンス



沖縄県人会による「エイサー」演舞

式典終了後には、一転趣向を変えて体育会による「ウエルカムパフォーマンス」や、沖縄県人会による「エイサー」の演舞を披露。公式戦用ユニフォームなどに身を包んだ先輩たちから熱いメッセージが送られ、式場の興奮は頂点に達した。

OPEN CAMPUS 2013

法学部・経営学部 スポーツと就職に強い秘密を公開

6月16日(日) 10:30~13:00

朝日大学の紹介、推薦・AO入試の説明、資格取得や海外研修に参加した先輩の話が聞けます。

8月3日(土)・8月4日(日)・9月14日(土) 10:00~15:00

スポーツ活動、就職支援、入試情報や充実の独自奨学金制度を詳しく説明します。キャンパス見学や法学部・経営学部の授業も体験できます。学食体験もあります。

お問い合わせ／朝日大学 入試広報室 フリーダイヤル 0120-058-327 E-mail nyuusi@alice.asahi-u.ac.jp

歯学部 歯学部に一日体験入学

7月25日(木)・8月22日(木) 10:00~15:00

模擬講義や、実際の診療環境を再現した実習室にある患者型シミュレーターで歯を削ったりするなどの実習体験が充実しています。

6月15日(土)・9月7日(土)・10月19日(土)・11月16日(土)

14:00~16:00

歯科の魅力や朝日大学紹介、入試説明会、個別相談を開催します。



海外の歯学部学生・客員研究員を受け入れ



HOT TOPICS

活発な意見・情報交換

本学と交流協定を結んでいるアラバマ大学バーミングハム校、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、テキサス大学サンアントニオ校の教員と学生たちが本学歯学部での海外研修のため相次いで来日した。

海外の歯学部学生たちは、藤原周国際交流委員長らから、日本における歯学教育の現状や日本文化に関する講義を受け、穂積キャンパスの附属病院で日本の歯科医療の現場を見学、アメリカにおける医療システムや機器の違いなどについて活発な意見・情報交換を行った。

修了式で学生たちは、大友克之学長、磯崎篤則歯学部長から「修了証書」を一人ひとり受領。その後のパーティーでは、本学から海外研修経験のある学生や関係教職員との交流を深めていた。

メキシコからの客員研究員

メキシコ州立自治大学から客員研究員を受け入れた。同大学大学院生のJose Roberto Bermeo Escalona氏は、歯学部口腔病理学分野で「ヒトパピロマウイルス感染によって発症した口腔扁平上皮ウイルス遺伝子型とその予後因子との関係」を共同研究することとなる。



メキシコ州立自治大学からの客員研究員が大友学長を表敬訪問

メキシコ州立自治大学との交流は、本学創立者である宮田慶三郎前理事長が、1986年に歯科医学教育の発展に寄与することで同大学に「宮田慶三郎リサーチセンター」を設立したこと始まる。

「商業教育に関する連携協定」締結

本学と三重県立四日市商業高校（三重県四日市市）との「商業教育に関する連携協定」調印式が3月7日に同高校で行われ、青山晶校長と奥山徹経営学部長とが協定書に署名した。

今回の商業教育に関する連携は、三重県教育委員会が専門学科で学ぶ生徒を対象に、より高度な技術の習得や難易度の高い資格取得をめざし実施する『若き「匠」育成プロジェクト』の研究校に同校が指定されたことを受け実現したもの。

「匠プロジェクト」で7年間の連携教育

「匠プロジェクト」で育成された人材は、将来、三重県においてその能力を発揮することが期待されることから、地元東海地方の大学ですべて岐阜県高等学校商業校長会との高大連携の実績を有する本学に連携の要請がなされた。

高度な資格取得をめざす三重県の若者たちが、高校・大学での7年間の連携教育を受け、将来、実社会での活躍や三重県への社会貢献が大いに期待されることとなる。



青山校長と奥山経営学部長が協定書に署名

歯科医師国家試験 「新卒者合格率全国第4位」

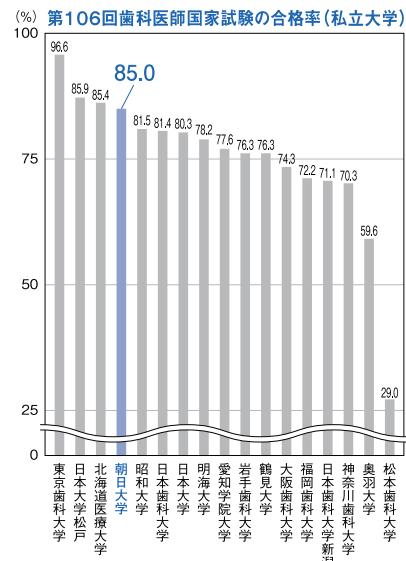
「第106回歯科医師国家試験」の合格発表（3月19日）があった。

本学歯学部における新卒合格率85%（合格者数85名／100名受験）は、私立歯科大学17校中第4位に位置している。新卒と既卒とを合わせると108名が合格を手にした。

さらなる飛躍を目指す

今回の「歯科医師国家試験」も3,321名の受験者に対し2,366名が合格（全体平均合格率71.2%）という大変厳しい結果となった。

来春の「第107回国家試験」ではさらなる飛躍を目指す、歯学部の教育はすでに始動している。



医学図書館協議会を開催

穂積キャンパス7号館において「東海地区医学図書館協議会実務担当者会議」が開催された。

同会議は、学生、研究者や医療従事者への学習・研究支援を行っていくうえで役立つ医学・歯学の知識や情報技術を学ぶことを目的として毎年開催されており、今回は3名の講師が講演や実習を担当した。

「病気のリスクを評価する：がん疫学研究より」

愛知県がんセンター研究所 松尾 恵太郎 氏
分子疫学部部長



「オノマトペを活用して伝え上手・聞き上手に」

経営学部ビジネス企画学科 藤野 良孝 准教授

「Power Pointで効果的に伝えるヒント初級編」

経営学部経営情報学科 岡村 英知 准教授



参加者たちは、図書館で活用できる知識や技術がないかと真剣な面持ちで講演会を受講し、実りある実務担当者会議となった。

TOPICS



名誉教授称号授与

朝日大学名誉教授
明坂 年隆氏朝日大学名誉教授
土井 豊氏

「朝日大学名誉教授」の称号が、明坂年隆氏(歯学部教授)並びに土井豊氏(歯学部教授)に2013年4月1日付で授与された。

このたびの授与は、本学における教育・学術上の功績が高く評価されたものである。

FD研修会が開催される

活発な質疑応答

歯学部FD委員会が主催する「FD研修会」が、穂積キャンパス1号館大講義室で開催された。

今回の研修会では、神奈川歯科大学顎顔面診断科学講座病出席者たちは熱心に講演に耳を傾けていた理学分野の楢木恵一教授を招へい。楢木教授からは「学生の機能的学習を引き出すTBL(チーム基盤型学習)の概要と実践的展開のポイント」と題した講演が行われた。

研修会場では、今後の学生教育に役立てようと活発な質疑応答や意見交換がなされ、実りある研修会となった。

ランチタイムミーティング

また、経営学部では、同学部FD委員会が主催する「ランチタイムミーティング」が開催され、ビジネス企画学科の妹尾久生准教授が講師を務めた。

妹尾准教授は、企業人としての勤務経験を生かし、学生が授業を通して「学習方法を学び、主体的に行動できる人材」となるよう、学生の能力や特徴に合わせた指導を心がけていると解説。

参加した教職員も学生ひとり一人の顔が見える教育や指導を心がけることが大切であることを学んだ。

FD [faculty development] 教員の教育力を高めるための実践的手法

日本商業教育学会を開催



穂積キャンパス6号館大講義室で「第17回日本商業教育学会東海部会研究会」が開催され、東海地方の商業教育に携わる教諭ら約100名が参加した。

同学会・研究会は、商業教育やキャリア教育の有り方、教育方法の改善などに積極的に取り組む組織で、日々活発な教育や研究活動に取り組んでいる。

会場となった講義室では、今後の教育や指導に有益な講演や研究発表が行われ、参加者たちは、多様なニーズを持った生徒たちの高校生活をいかに支援していくべきかなどを熱心に学んだ。

簿記教育における高大接続

朝日大学経営学部 小島一富士 教授

高等学校における地域をフィールドとした実践的マーケティング活動の展開

愛知県立愛知商業高等学校 梶原英彦 教諭

専門高校でのキャリア教育の課題と展望

浜松学院大学 戸田昭直 教授

生徒が輝き、地域を元気にする授業実践

三重県立尾鷲高等学校 山本勇人 教諭

きふネットショップハイスクールを中心とした地域連携

岐阜県立岐阜商業高校 田中英淳 教諭

岐阜県弁護士会と連携

本学と学術交流協定を結んでいる岐阜県弁護士会との定例懇談会が開催され、2012年度の成果報告と本年度共同事業計画について協議が行われた。



岐阜県弁護士会との定例懇談会

懇談会では、2012年度報告として、ジュニア・ロースクール、公開講座、司法修習生研修、朝日大学法送局、法教材コンクール等の実施状況が報告された。また、本年度においても引き続きこれらの事業を継続していくと共に、新たな事業や教育研究面での一層の連携協力を図っていくことを確認した。

県弁護士会との学術交流協定は、岐阜県の法教育推進にかかる事業、判例研究の共同研究事業を積極的に展開していくことで2009年6月に締結されている。

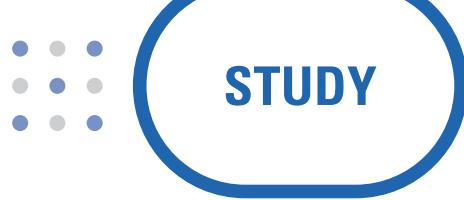
「商品開発塾」を開催

マーケティング研究所と岐阜県商業教育研究会の共同開催による「ヒットメーカーに学ぶ商品開発塾」が穂積キャンパス6号館講義室で開催された。

今回の開発塾では、ライフネット生命保険(株)代表取締役社長の出口治明氏を講師に招へい。「私が経験した起業のすべて」と題した講演には、高校教諭や経営学部教員や学生ら40名が熱心に聴講した。



出口代表取締役社長が起業のすべてを語る



「フロンティアセミナー」開催

本学穂積キャンパス1号館講義室で、瑞穂市とその周辺地域にある大垣共立銀行5支店が主催する「第24回フロンティアセミナー」が本学協賛のもと開催され、瑞穂市、岐阜市、本巣市などの市民ら約60名が法学部三田清教授の講演を聴いた。

本セミナーは、大垣共立銀行が進める地域活性化事業の一環として実施されている催事で、本学では同セミナーに対し「大学の知的財産」を地域社会の皆様に還元できればと、第1回目の開催から協賛している。

選挙と政策

今回のセミナーでは、三田教授が「選挙と政策」と題し、日本の政治の歴史と現状、政策と政権の関連性などについてわかりやすく解説。受講生たちは、メモをとりつつ選挙と政策について熱心に学んだ。

フロンティアセミナーは、今後も半年に一度本学を会場として開催される予定である。



三田教授が「選挙と政策」を解説

「瑞穂大学寿学部」で講演

瑞穂市の総合センター・サンシャインホールで「2012年度瑞穂大学寿学部閉講式」が開催され、最終講座の講師として経営学部の灰田准教授が受講者約300名を前に講義を行った。

「瑞穂大学寿学部」は、瑞穂市誕生を記念し開講されている「生涯学習の学びの場」で、700名の在籍者を有する。

豊かな人生を送る

灰田准教授は、はじめにインドとバングラデシュにまたがるベンガル州での生い立ちや日本のすばらしさに魅了され日本国籍を取得したことなどを紹介。ユーモアを交え昨今の高齢者の三大関心事が自己中心的な「旅行、健康、儲け話」であることを憂い、研究ライフワークのひとつであるシェークスピアの戯曲を題材に、「世界有数の長寿国である日本、みなさんもっとー豊かな人生ーを送れるよう心がけましょう」と受講生たちに呼びかけた。

講演終了時には、会場から満場の拍手がわきあがつた。



灰田准教授が「生涯学習の学びの場」で講演

模擬裁判で司法制度を学ぶ

法学部学生で組織する「劇団朝日」のメンバーたちが、裁判や司法制度について身近に知ってもらおうと聖マリア女学院高等学校(岐阜市)で模擬裁判の法廷劇を演じた。



生徒たちは「有罪か無罪」かを発表

「疑わしきは被告人の利益に」

高等学校では、本年度から法教育を盛り込んだ新学習指導要領が施行。このことから法学部の大野正博教授が裁判の流れや「疑わしきは被告人の利益に」という裁判の原則を解説、その後学生たちが窃盗事件を題材にした模擬裁判の法廷劇を披露した。

受講した同校の生徒は、大野教授や学生たちのアドバイスを受けつつ「有罪か無罪か」をめぐり白熱した論議を繰り広げ、模擬裁判を通じ裁判の仕組みを学んだ。また、授業を終えた生徒からは「ぜひ裁判員もやってみたい」との声も聞かれた。

EVENT

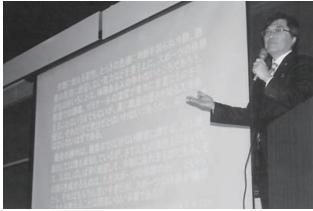


「建学の精神」を学ぶ

「大学の歴史や大学で学ぶ意義」を学ぶ授業科目「建学の精神と社会生活」が、法学部と経営学部新入生を対象に本年度から開講された。

第1回目の講義では、大友克之学長が大学創設の経緯や「建学の精神-社会性・創造性・人間的知性-」「建学の精神」を講義する大友学長について解説。講義を終えた大友学長は「岐阜県外の学生が多数在籍していることから、岐阜がどんなところなのか、なぜ朝日大学が岐阜にあるのかなどについて学ぶ機会にでもらいたい」と語った。

今後は、「朝日大学と岐阜県」、「大学での学び方入門」、「資源とエネルギー」などの講義（前学期15回）が学内外の教員によって実施される。



大学生としての自覚を認識

また、4月18日にはフィールドワークとして岐阜市博物館や長良川河口堰などでグループに分かれ見学を行い、岐阜の歴史や地域性を学ぶと共に、新しい友達や教員との交流を深めた。グループごとに配置された教員たちは、見学や散策を通じ親睦を深めながら大学生としての自覚をもつことの大切さや自己のキャリア形成のあり方などについて説明し、新入生たちの大学生活に対する不安を取り除いていた。



防犯活動で 関西国際大学と交流

法学部学生が組織する防犯ボランティア「めぐる」と関西国際大学（兵庫県三木市）の学生サークル「犯罪心理学研究会」とが、穂積キャンパスで防犯活動の取り組みや課題について意見交換を行った。

共に地域社会を守る

「めぐる」は、瑞穂市や岐阜県警北方署などと連携し地域パトロールや防犯啓発活動に、また、「犯罪心理学研究会」は、犯罪者の心理分析や薬物乱用防止啓発に、それぞれ積極的に取り組んでいる。

交流会では、互いの取り組みを紹介し、特色ある活動内容や実施のノウハウを熱心に質問しあっていた。両団体のメンバーたちは、「志の高さや熱心さに刺激を受けた、有意義な情報を得ることができる交流を今後も継続して行きたい」などと交流会の成果を語った。

将来のリーダーを育成

本学恒例の行事である「リーダーズキャンプ」が羽島市のかんぽの宿で1泊2日の日程で開催され、学生教職員約50名が参加した。

リーダーズキャンプは、各種団体（学友会、体育会、大学祭実行委員会、学友会中央協議会）の学生代表が集い、グループに分かれディスカッション毎年宿泊形式で行われており、リーダーシップの育成、クラブ・同好会活動の活性化、参加者相互の親睦を深めること目的としている。



両日共に分割されたタイムスケジュールの中で、自己紹介、グループ討議、フリーディスカッション等のセッションを次々とこなした学生たちは、短期間に将来のリーダーとしての素養を身につけた様子であった。

心肺蘇生法を学ぶ

また、今回のリーダーズキャンプでは、岐阜市消防本部の協力を得て「救命救急講習会」も開催された。参加者たちは応急手当の基礎知識、AEDを利用した心肺蘇生法など熱心に学んだ。



参加学生たちのキャンパス内での活躍が期待される。

会計学教育

「日商簿記検定2級直前講座」開講

穂積キャンパス6号館大講義室で「日商簿記検定2級直前講座」が開講され、岐阜県内の商業科目を学ぶ高校生約300名が参加した。

同講座は、岐阜県高等学校商業校長会からの要請により、本学の教育資源を地域に還元することで、商業科で学ぶ高校生が会計を武器に自身の可能性を広げ、将来、地域社会に役立つ人材として育って行くことを期待し開講されたもの。

公認会計士試験合格者を多数排出

講師を務めた経営学部の小島一富士教授は、現役公認会計士や中央大学経理研究所講師としても活躍しており、これまで多数の公認会計士試験合格者の輩出実績を有している。

会場となった講義室では、「日商簿記検定2級」合格をめざし、小島教授の一言一句を逃さず真剣な姿勢で直前講座に取り組んでいた。



高校生が真剣な姿勢で直前講座に取り組む

CLOSE UP

ボウリング 圧巻!「全日本」を制す

体育会ボウリングチームでジャパン(日本代表)の竹川ひかる選手(ビジネス企画4年:岡山)が、「文部科学大臣杯争奪第51回全日本選手権(稻沢グランドボウル:愛知)」、「第44回全日本大学個人選手権(MKボウル上賀茂:京都)」において、激戦を制しひごとつの優勝を手中に収めた。



全日本選手権を制した
竹川ひかる選手

世界ユースで準優勝



今シーズンの成績を大友学長に報告 選手(ビジネス企画4年:沖縄)と竹川選手が、今シーズンの成績を大友克之学長に報告した。

大友学長は、報告に訪れた選手に「ボウリングチームの今後のさらなる躍進が楽しみである」と語った。

全日本大学個人選手権

女子 優勝	竹川ひかる選手	男子 10位	安里秀策選手
全 日 本 選 手 権			
マスターズ女子 優勝	竹川ひかる選手(ビジネス企画4年:岡山)		
女子ダブルス 優勝	竹川ひかる選手 ※岐阜県選抜メンバーとして出場		
女子トリオ 優勝	竹川ひかる選手 ※岐阜県選抜メンバーとして出場		
女子団体総合 総合優勝	竹川ひかる選手 ※岐阜県選抜メンバーとして出場		
男 子 ト リ オ 4位入賞	安里秀策選手(ビジネス企画4年:沖縄) ※岐阜県選抜メンバーとして出場		

体育会総会開催

穂積キャンパス6号館大講義室で、学生や指導者ら700名が集い体育会総会が開催された。

大友克之学長(前会長)により2002年に10種目でスタート、昨春新たに会計研究部が加わり13の競技種目(別に4種目の強化指定あり)へと成長した体育会は設立11年が経過し、数多くの全日本チャンピオンを輩出するなど国内外でめざましい活躍を遂げている。

体育会総会で挨拶する山本英弘会長

総会で山本英弘会長は、「体育会のモットーである文武両道を旨とし、これまでの輝かしい伝統を引き継ぐと共により発展させ全国に朝日大学体育会の名を広めて行こう」と熱く語った。



体育会総会で挨拶する山本英弘会長



SPORTS

栄えある 「スポーツ功績賞」受賞

2012年度の「岐阜県文化・スポーツ功績賞」表彰式が、岐阜県庁で行われ、個人部門で6選手が、また、団体部門では3団体が栄えある岐阜県文化・スポーツ功績賞を受賞した。

「岐阜県文化・スポーツ功績賞」は、岐阜県では最も栄えある賞のひとつとして位置づけられており、芸術やスポーツ、産業の分野で国内、世界トップレベルの活躍をした団体や個人に贈られる賞である。式典では、受賞者に賞状が授与され、「これからも大いに頑張ってください。」と激励の言葉を受けた。

全国大会での活躍を讃える



また、「岐阜県教育長表彰」と「岐阜県体育協会表彰」がそれぞれ行われ、体育会所属の選手たちは、表彰会場となった岐阜県図書館多目的ホール(岐阜市)とグランペール岐山(岐阜市)でそれぞれ表彰を受けた。

教育長表彰と体育協会表彰は、文化、スポーツの全国大会などで優勝や上位入賞をした県関係者を表彰する制度で、本学学生は栄誉ある両賞を毎年受賞している。

岐阜県文化・スポーツ功績賞

個人受賞	フェンシング部 田村紀佳(ビジネス企画4年:群馬) ボウリングチーム竹川ひかる(ビジネス企画4年:岡山) 安里秀策(ビジネス企画4年:沖縄)
自転車競技部	角優介(ビジネス企画3年:青森) 松本諒太(ビジネス企画4年:三重) 渡邊浩幸(ビジネス企画4年:岐阜)
団体受賞	フェンシング部(女子)、自転車競技(岐阜県選抜)、 ボウリングチーム(岐阜県選抜)

岐阜県教育長表彰

個人受賞	フェンシング部 吉岡垂紀(経営情報本年3月卒業:岐阜) 小栗奈津未(ビジネス企画本年3月卒業:岐阜) 佐々木暉(ビジネス企画4年:新潟)
自転車競技部	相馬義宗(ビジネス企画1年:岐阜) 渡邊翔太郎(ビジネス企画1年:岐阜) 松本貴治(ビジネス企画2年:愛媛) 矢野智哉(ビジネス企画3年:岐阜) 森沙耶香(ビジネス企画4年:大分)
団体受賞	フェンシング部(男子)、剣道部(女子)

岐阜県体育協会表彰

個人受賞	自転車競技部 角優介(ビジネス企画3年:青森) 松本諒太(ビジネス企画4年:三重) 渡邊浩幸(ビジネス企画4年:岐阜)
団体受賞	フェンシング部、自転車競技(岐阜県選抜)

NEWS



栄えある「宮田賞」受賞

2012年度卒業式(穂積キャンパス10周年記念館大ホール)で、「宮田賞」の授与が行われた。

本学の創立者である学校法人朝日大学の前理事長宮田慶三郎の素志により制定された「宮田賞」は、在学中の学業成績が特に優れた者や課外活動に貢献し本学の名誉を昂揚させた学生を対象に表彰するものであり、受賞者(6名)には「表彰状」と「銀杯」が大友克之学長から贈呈された。受賞者たちの今後の活躍が大いに期待される。



羽ばたけ建学の精神を胸に

学長告辞では、大友克之学長から朝日大学を旅立つ卒業生たちへのはなむけの言葉として「建学の精神の延長線上に」が贈られた。式典終了時には参列者全員が拍手で卒業生たちを見送り、厳肅であった会場内がたちまちに暖かい雰囲気に包まれた。

宮 田 賞 受 賞 者	法学部	法学科	下村梨沙子
		経営学科	加賀 隆志
	経営学部	経営情報学科	保久盛 亨
		ビジネス企画学科	帆足 拓十、小栗奈津美
	歯学部	歯学科	西川 聰美

法教育教材・作文コンクール

小・中学校や高校などで法教育を効果的に行うための教材や指導方法を競う「第4回法教育教材コンクール」(主催:朝日大学、岐阜法教育研究会)の表彰式が、穂積キャンパス5号館講義室において行われた。

本コンクールは、これまであまり学校で教えられてこなかった法教育を広めようと、本学や岐阜県弁護士会が呼びかけ、毎年開催されている。今回、小学校から高校まで、教材や学習指導案など多数の応募があり、厳正な審査の結果、優秀な教材など5作品が岐阜県教育委員会賞や岐阜県弁護士会長賞などに選ばれた。

小・中・高校生が応募

また、昨年から始まった「法教育に関する作文コンクール」には、343件の応募があり、厳正な審査の結果、8作品がそれぞれ賞を受賞した。受賞者インタビューでは、「今回の応募をきっかけに、ルールの大切さを学べてよかった」との声が聞かれた。



「法教育教材コンクール」の受賞者



2013年度における 「東日本大震災」で被災した入学生・在学生への 支援対応について

朝日大学では、2012年度に引き続き、東日本大震災により居住地が災害救助法の適用を受ける市町村からの入学生・在学生(科目等履修生、研究生、特別聴講学生を除く)の皆さんに対し、次のとおり就学支援を目的とする特別措置を講ずることとします。

なお、適用を受ける場合には、原則として、公的機関が発行する「被災状況についての証明書」等の書類を提出いただくこととなります。

対象者

- 東日本大震災による災害救助法適用地域において学費支弁者が罹災した2013年度入学生・在学生(科目等履修生、研究生、特別聴講学生を除く)
- 罹災対象等:家屋の全壊、半壊、一部損壊又は学費支弁者が死亡若しくは行方不明

支援内容

入学生

- 学生納付金等の減免

2013年度の入学金、前学期及び後学期授業料、施設維持費並びに歯学教育充実費の全額免除。

- 居住環境等の提供支援

入学生の家族に対し被災状況により居住環境等の提供支援が必要となる場合には、当分の期間について、住居(大学が物件を臨時に借り上げ)を無償貸与するなどの便宜をはかることとします。

- その他

被災の状況により上記以外の特別な支援が必要と思われる場合には、その都度柔軟に対応を検討いたします。

在学生

- 2013年度の前学期及び後学期の授業料及び施設維持費の全額を免除。

問い合わせ先／朝日大学 総務部経理課

TEL 058-329-1026・1027 FAX 058-329-1029

災害時における 相互支援協定を締結

村上記念病院では、「災害時における岐阜大学関連病院間の相互支援に関する協定」に締結した。

この協定は、病院が自然災害や不慮の事故に見舞われ被災し病院機能を損なう事態に陥ったとき、患者の身体や生命の安全を確保するために、協定病院が要請により相互に支援するもので、本院を含め岐阜県内など41の病院が協定締結に参画している。

東日本大震災を教訓に協議が進められてきた今回の協定締結により、本院は災害時など有事の際にも地域医療の確保に貢献していくこととなる。